

傘寿祈念

襟立 玉英 書作展



二〇一九年、十二月ニューヨーク・二人展・国連学校での授業を終えて帰国。翌二〇二〇年年頭よりコロナ感染拡大。四月緊急事態宣言発令・在宅を余儀なくされました。

二〇二二年二月には、ロシアのウクライナ侵攻と、八〇歳の今日まで、経験したことのない環境、社会情勢の中で、「人間にとつて、芸術とは」「私にとつて、書とは」考えさせられました。在宅での作品制作を通して、私は書が好きなんだ。書を通して、多くの方と交わり、学び、生きてきたのだ、と思いました。

大学の書道科で学んで以来、六〇数年の歩みの上に立つて、今の自らをここに、そして、これからのかな書に想いを馳せ、作品を制作いたしました。

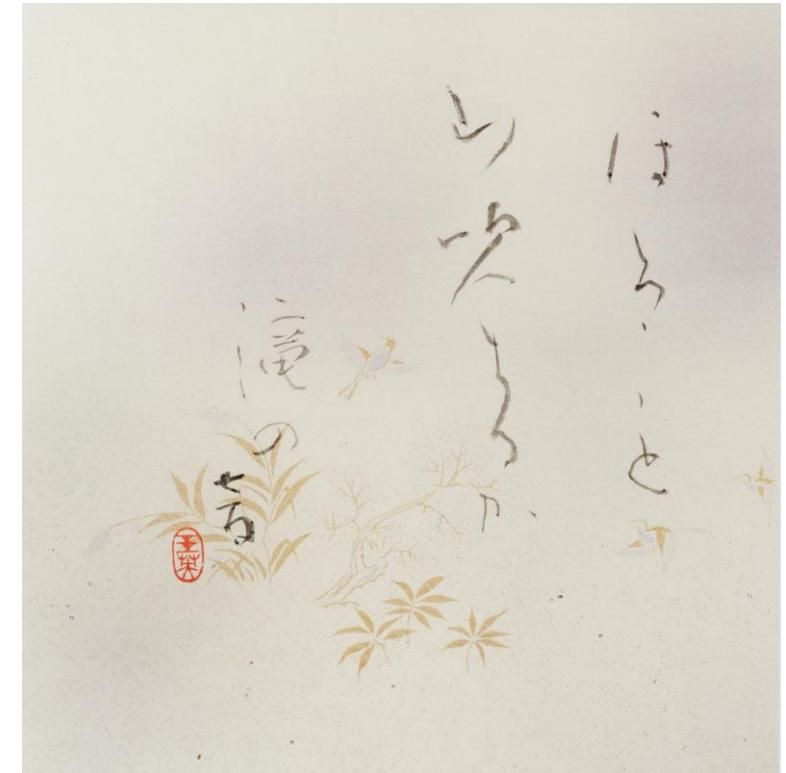
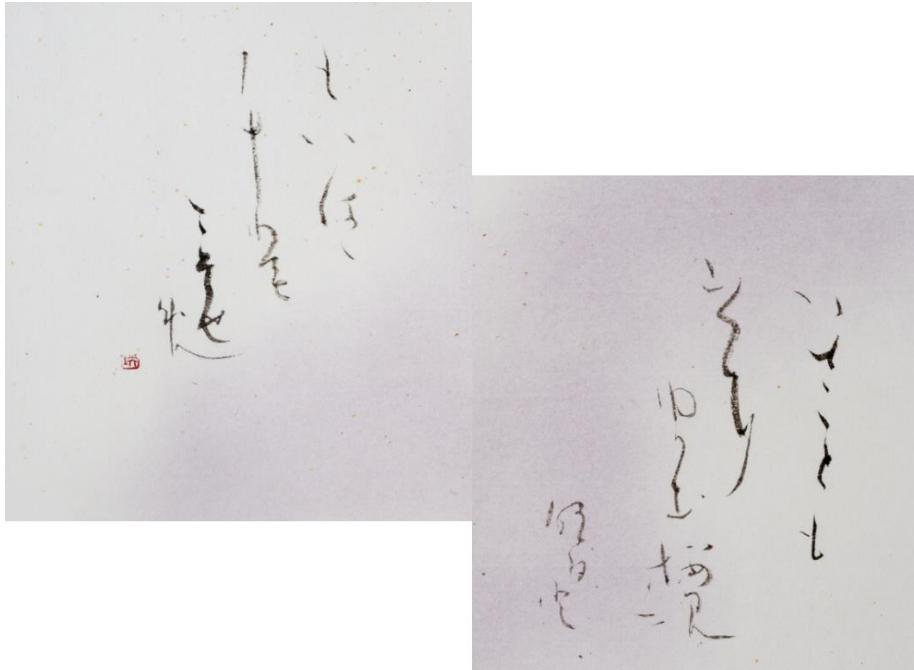
かな書への夢は大きく、望みは高いのですが、自らの力の足らなさを痛感しておりますが、次のステップへの足がかりと考え、作品を展示させて頂きます。

ご高覧、ご高評賜ります様お願い申し上げます。

襟立玉英



写真 唐木英明氏



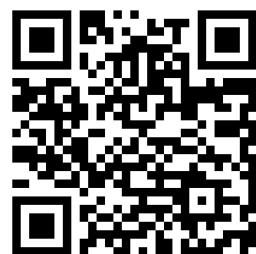
3枚目の2

襟立玉英

略歴



襟立玉英P



リーガ日イユルホテルアクヤス



1942年 (昭和17年)	大阪に生まれる
1961年 (昭和36年)	大阪府立大手前高等学校卒業
1965年 (昭和40年)	国立奈良教育大学特設書道科 卒業
同年	私立金蘭会高等・中学校 書道科教諭
1977年 (昭和52年)	かな書道家杉岡華邨 (文化勲 章受章者・芸術院会員 大阪教育大学名誉教授) 先生に師事
1985年 (昭和60年)	日展初入選以来36回入選 (34回連続入選)
2017年 (平成29年)	ベトナムホーチミン市師範大学 にて講演
2018年 (平成30年)	ポーランドワルシャワ大学 日本語学科にて講義
2019年 (令和1年)	アメリカニューヨークにて 展覧会、国際国連学校で授業、ワークショップ開催
2021年 (令和3年)	WEB書展 襟立玉英・門人と仲間た 展・オンラインギャラリートーク
2023年3月現在	日展会友・読壳書法会理事・ 高島屋友の会講師・臨池会渉外部長・玉暉会主宰



ホームページ：<https://kana-shodo.com>